

パルスリープ

「パルスリープ」。えっ、何、それ、新しい健康器具？いいえ、違います。これは「睡眠時無呼吸症候群」を調べる、れっきとした検査の機械です。

「睡眠時無呼吸症候群」は皆さんもうご存知の方も多いと思いますが、読んで字のごとく夜寝ているときに息が止まってしまう病気です。もちろん息が止まってもそのまま死んでしまうことはありませんが、いびきと呼吸の停止を繰り返し、夜中に苦しくなるためにぐっすり寝ることが出来ず、その結果昼間の眠気や居眠り事故などを引き起こす原因となります。さらに、高血圧や脳梗塞、心臓病の危険性も高くなるといわれており、適切な診断が必要です。しかし、診察では皆さんの寝ているときの状態を直接は見られませんので、睡眠時無呼吸の疑いのある人にはこの機械を持って帰ってもらい、寝るときに装着して頂くのです。すると、この機械に一晚の睡眠中の呼吸状態、いびきの具合などが全て記録されてしまいます。この記録を解析することにより、睡眠時無呼吸があるかどうか、またひどいのか軽いのかなどを診断できるのです。日中なんとなく眠い人、夜よくいびきをかいているといわれている人、特にそんな方にお勧めの検査です。

